

平成24年度 事業報告

1. 文化創造事業

文化創造事業については、市民の運営を基本とするアトリエ設置条例に基づき、市民力で感性豊かな文化芸術都市づくりを理念に事業活動を行ってきた。

事業実施に当たっては「プラン推進会議」で計画を共有し、スタッフが協調して積極的に事業を行った。

多くの事業を通じ、アミーゴの施設は個性があり、他の施設では味わえない、出演者、スタッフ、来館者との一体感があることで、来館者に愛着の持てる施設であることが実感できた。また、同時に文化施設の存在意義は、事業参加者とのコミュニケーションを通して地域に支持されることが重要であることも認識できた。本年度も多面的な事業が実施でき成果があったと感じる。

[指定管理における文化創造事業]

- ① 「ひとづくり」事業では、文化芸術に関心を持つ方、それを支えるスタッフなどを積極的に育てていく企画を行っている。「アート倶楽部」では、アートに関する歴史や鑑賞法などを学ぶという企画で、本年は「浮世絵」をテーマに実施した。その他、将来のディレクター候補の発掘と育成、公演などに当たって案内や誘導、終演後の撤収など運営に関わるスタッフの育成を行った。
- ② 「魅力づくり」事業では、「のこぎり屋根の音楽会～アフターコンサート～」で気軽な音楽機会を提供し、「アミーゴライブ」「アミーゴ狂言会」「落語会」「中井貴恵音語り」など上質な文化芸術を鑑賞する機会を提供してきた。サロン洋を活用した「アートサロン展」は5回開催した。地域内の武蔵野音楽大学との連携事業、地域産業である染織体験工房も継続して実施した。魅力あるアミーゴ、入間をアピールすることができた。
- ③ 「芽づくり」事業では、継続事業として「オペラ工房」、「ドラマ工房」などを実施した。オペラ工房は、プロのソリストを交え市民オペラ合唱団によるオペレッタ「メリー・ウィドウ」を上演した。「ドラマ工房」は、年間の稽古を通じ、9月の本公演「絆ありがとう」はじめ10minシアター等様々な公演を行った。将来の文化の担い手である子ども対象の事業として、「わくわく体験クラブ アミーゴキッズ」や「遊び場アートスタジオ」を実施した。
- ④ 「まちづくり」事業では、文化芸術を通じた地域との関係づくりを重視して「夏フェスタ」「秋まつり」を開催した。特に、「秋まつり」では、地域の中のアミーゴをアピールすることができ、多くの方の来場があり成果があった。
その他、法人独自事業であるが、アウトリーチ事業として「狂言・落語の学校古典芸能鑑賞会」「公民館落語会」などを行った。例年、多くの要望があり、アミーゴで培った事業ノウハウを他施設に提供することができた。

[法人独自の文化創造事業]

指定管理業務としての文化創造事業のほか、多くの NPO 法人独自の事業を行った。子どもゆめ基金の助成を得て実施したアミーゴキッズ事業や学校・公民館、企業などへの狂言、落語、コンサート、演劇のアウトリーチ事業などを開催した。また、西武地区の敬老会をアミーゴで開催し、アトラクションで大道芸を呼ぶなどの連携をした。小中学校生徒がアミーゴに来て地域の歴史を劇団アミーゴの演劇を交え学んだ。アミーゴらしい手法で行うことができ好評であった。

2. 文化創造アトリエ施設管理事業（指定管理事業）

- ① 来館者、利用者の安心安全の確保とアメニティー空間を確保するため、施設の修繕、備品の補充に努めた。
また、館庭美化のため、ガーデンボランティアによる除草作業を春から秋にかけて月 1 回程度行った。
- ② 市民ニーズに対応した窓口サービスを心がけ、利用率の向上に努めた。

※施設の利用状況や修繕の内容は別紙にて報告。

3. 各種会議などの開催報告

※別紙にて報告。

4. その他活動報告

- ① 会員交流会の開催
2 回の交流会を実施した。
 - ・ 5/22（火）総会終了後に開催。事業のプレゼンテーションを行った。
 - ・ 12/11（火）国府弘子さんのミニコンサートの鑑賞と共に交流会を行った。
- ② 広報紙「赤いのこぎり屋根」を年 4 回発行した。
- ③ 足利栗田美術館見学などスタッフ研修会を実施した。（2012/9/12）
- ④ 希望する団体などに施設及び運営の説明を行った。（別紙報告）
- ⑤ 指定管理者受託に向けた申請書類の作成、第三者評価対応、選定委員会でのプレゼンテーションなど。